



日本全国
能楽キャラバン



日本全国 能楽キャラバン!

夏休みファミリー能

とき ▶ 2022.8.7(日) 9:30 開場

ところ ▶ 喜多流大島能楽堂 福山市光南町2-2-2

前売券 ▶ ■ 一般 ■ 小・中・高校生
※当日券各500円増 2,000円 1,000円

チケット販売 6.15 発売開始 LINE公式アカウント

※チケットの払い戻しは致しません。



番組 ▶ 10:30~12:30

- 狂言ってなあに?
- 狂言 「梟山伏」
- お能ってなあに?
- 紙芝居 「ふなべんけい」
- 能 「船弁慶 真之伝」



文芸庁 統括団体によるアートキャラバン事業 (コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業)

主催

有限会社 榎木端
公益社団法人能楽協会

お問い合わせ

喜多流大島能楽堂 TEL.084-923-2633
osimano@orange.ocn.ne.jp www.noh-oshima.com

夏休みファミリー能



番組

- 狂言ってなあに? _____
- 狂言 「梟山伏 ふくろうやまぶし」 _____
 山伏 野村 太一郎 兄 岡 聡史
 弟 内藤 連 後見 月崎 晴夫
- お能ってなあに? _____
- 紙芝居「ふなべんけい」 _____
- 能 「船弁慶 真之伝」 _____
 前シテ(静御前) 大島 衣恵
 後シテ(平知盛の霊) 大島 輝久
 (源義経) 大島 伊織
 (武蔵坊弁慶) 岡 充 (従者) 有松 僚一 原 陸
 (船頭) 野村 太一郎
 笛 斎藤 敦 小鼓 横山 幸彦
 大鼓 白坂 信行 太鼓 林 雄一郎
 地謡 大島 政允 出雲 康雅 大村 定 長島 茂
 金子 敬一郎 内田 成信 粟谷 充雄 塩津 圭介
 後見 狩野 了一 佐々木 多門 他



大島 衣恵
能楽師 シテ方喜多流



大島 輝久
能楽師 シテ方喜多流職分



岡 充
能楽師 ワキ方高安流



野村 太一郎
能楽師 狂言方和泉流

狂言ってなあに?

室町時代に始まり江戸時代に現在のスタイルになった庶民の日常生活を明るく描いたセリフを中心とした喜劇です。誰もが思い当たる軽い失敗を作品の題材として大げさなくさで滑稽に演じ、おおらかに朗らかに笑いを誘う楽しい古典芸能です。

お能ってなあに?

鎌倉時代に始まり中世、近世と時の権力者に愛されながら数百年の歴史を歩んできた謡や舞を中心とした歌舞劇です。主役(シテ方)は役に扮するために能面を付ける仮面劇でもあり、極限まで洗練された演技に深い意味が込められています。

曲目紹介

「梟山伏／ふくろうやまぶし」

山から帰ってきた兄弟でしたが、弟の様子がおかしいと兄が山伏に相談に行き診てもらうことにしました。何だか頼りない山伏ですが元気のない弟の祈禱を始めると「ホー!」という奇声を発しました。どうやら山に入った時に弟は梟の巣にいたずらをしたようで、これは巣に憑りつかれたに違いないと思う山伏は再び祈禱を始めます。弟は手を羽ばたかせ「ホー! ホー!」とますます激しく声を発します。その様子を心配そうに見ていた兄ですが、やがて同じように手を羽ばたかせ奇声を発するようになってしまいます。山伏は慌てて兄に祈禱すると弟が「ホー!」、弟に向かって祈禱すると今度は兄が「ホー!」。あちらこちらででんでこ舞いした山伏はついに力尽きて倒れてしまいます…。この続きは当日の舞台でご覧ください。新型コロナウイルスで大変な時世を古でも体験したような曲目ですね。



紙芝居

「ふなべんけい」



曲目紹介

「船弁慶 真之伝／ふなべんけい しんのでん」

今年の大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の主要人物である源義経と静御前を中心に、壇ノ浦の戦いで滅亡した平家一門の総大将であった平知盛の怨霊が登場するストーリーです。前半は平家滅亡に功績を上げた義経が、兄の頼朝の怒りを買って鎌倉方から追われる身となりました。義経は弁慶や忠実な従者と共に西国へ逃れようとしていますが、同行していた静が困難な道のりをこれ以上進むことが難しく、都に戻ることに別れの宴を催しました。その席で静は義経の未来を祈り、再会を願って舞い涙にくれて見送ります。後半では出港した義経一行の船が突然暴風雨に見舞われ、そこに平家一門の亡霊が現れ憎き義経を海のもくずにするべく知盛の怨霊がなぎなたを振りかざして襲いかかります。前半の優美な舞と後半の荒々しい舞働の対照的な構成で、謡いや囃子の強弱、緩急も全く異なる変化に富んだ劇的な曲目です。

